

編集後記

最近、富に活気が帯びてきた“推進技術の海外進出”について、思うところを記したい。

今から3年前、永らく続いた自民党政権から民主党へ政権が移行した。民主党新政権は、自民党時代の公共事業のムダを排除するとして選挙マニフェストを実行するとし、国交大臣に就任した前原氏は、その象徴とされた「八場ダム」の事業中止と同時に、我が国が保有する優れた建設技術の活躍の場として、海外市場を目指せと叱咤した。

かつて、自民党は地方票に圧倒的な強みを有していたこともあり、地方での公共事業に手厚い施策を展開した。この受け皿として、地方の建設業界は活況を続け、先々の不安材料も見当たらず、心地良いぬるま湯に浸り、自らの手に回ってきた建設工事に鼻息荒く専念できていた。そのピークが平成10年度、小淵内閣時代で、バブル崩壊以降の景気低迷へのカンフルとして、公共事業投資の増額を3次補正まで重ねた。下水道事業についても、その年度の総事業費は約4兆8,000億円となり、正に空前絶後となった。推進工事の施工実績も、この時期、年間1,200kmに上った。全国の推進業者も、忙

しはさて置き、何をしても儲かった時代かもしれない。

しかし、その心地良い順風はいつまでも続かない。平成13年度、小泉内閣成立以降、建設業界で蔓延した汚職、談合事件に対する社会批判に押され、公共事業は継続的に削減され続けた。昨今では、往時の6割減となった市場で建設業界は生存を余儀なくされている。一日2,500カロリーで豊かな食生活を満喫してきた働き盛りの中年が、いきなり1,000カロリーでの超ダイエット生活を強いられる状況だ。これに耐えられる意志、忍耐力はあるのか。これまで何人かの仲間は、廃業し戦線離脱した。

国内で満足に喰えないなら、外へ出る。昭和初期のアメリカ、ブラジルへの海外移民や戦前の満州開拓奨励のイメージが、今の建設業界と重なって見えるかもしれないが、果たして当時と同じ状況に追い込まれた姿なのだろうか。否だ！違いは歴然だ。こちらが一方的に出て行きたいのではなく、向こう側がこちらの来ることを望んでいる、必要としているのは事実だ。

今年、2月から3月にかけて2週間、例年になく寒い時期であったが、国交省の企画でベトナムから行

政機関幹部技術者4名を招聘し、我が国の世界に冠たる推進技術のすばらしさ、過密都市部での排水基盤整備における有益性、優位性を学んで頂いた。彼らの理解度は、対応に当たった我々の予測をはるかに超えるものであった。こちらとしては、相手が何も予備知識を持たないことを前提に、一から手順を追って説明しようとするれば、彼らは常にその先々の課題について熱心に質問する。彼らは、すでに、自らが推進工事の発注者の立場に立って、その疑問、不明点への説明を求めてくる。こちらとしては、研修当初からここでの成果すでに有、自然と笑みが出るわけだ。2週間にわたる楽しいお付き合いの後、彼らは満足げな笑みを浮かべ、帰国の途に着いた。今後、彼らが中心となり、ベトナム主要都市での推進工法普及に励んで頂けるだろう。当然ながら、我々は彼らのアシスタント、PTAとして、これから永き良きお付き合いとなることだろうし、強く望むところだ。

推進技術の海外進出に当たっての具体的な課題とその対応については、次回以降とする。

（編集委員長 石川和秀）

No-Dig Today

No. 80 2012 Jul. 平成24年7月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会
発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975
発行人：松井大悟
印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、巻末の振込み用紙で当協会まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込み)

1冊 1,575円(本体1,500円)〒400円
1ヵ年(4冊)6,300円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：1・4・7・10月1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。媒体資料等お送り致します。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会にて選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2012 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。